

国立研究開発法人科学技術振興機構が担当するムーンショット目標6「2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現」は、研究開発開始後約1年が経過しました。現在7つのプロジェクトで進めている研究開発の成果を、広く国民の皆様・産業界や学界の皆様が発信するとともに、誤り耐性型汎用量子コンピュータの実現に向けた課題を共有させていただきます。

ムーンショット目標6 公開シンポジウム2022

2022年 3月11日(金) 13:00~17:50

プログラム

13:00-13:15	開会挨拶 来賓挨拶	ムーンショット目標6 プログラムディレクター 北川 勝浩 (大阪大学 教授) 内閣府(予定)
13:15-13:35	プロジェクト成果報告①	「超伝導量子回路の集積化技術の開発」 プロジェクトマネージャー 山本 剛 (日本電気(株) 主席研究員)
13:35-13:55	プロジェクト成果報告②	「イオントラップによる光接続型誤り耐性量子コンピュータ」 プロジェクトマネージャー 高橋 優樹 (沖縄科学技術大学院大学 准教授)
13:55-14:15	プロジェクト成果報告③	「誤り耐性型大規模汎用光量子コンピュータの研究開発」 プロジェクトマネージャー 古澤 明 (東京大学 教授)
14:15-14:35	プロジェクト成果報告④	「大規模集積シリコン量子コンピュータの研究開発」 プロジェクトマネージャー 水野 弘之 ((株)日立製作所 主管研究長)
14:35-14:55	質疑応答①~④	
14:55-15:05	休憩	
15:05-15:25	プロジェクト成果報告⑤	「量子計算網構築のための量子インターフェース開発」 プロジェクトマネージャー 小坂 英男 (横浜国立大学 教授)
15:25-15:45	プロジェクト成果報告⑥	「ネットワーク型量子コンピュータによる量子サイバースペース」 プロジェクトマネージャー 山本 俊 (大阪大学 教授)
15:45-16:05	プロジェクト成果報告⑦	「誤り耐性型量子コンピュータにおける理論・ソフトウェアの研究開発」 プロジェクトマネージャー 小芦 雅斗 (東京大学 教授)
16:05-16:20	質疑応答⑤~⑦	
16:20-16:30	休憩	
16:30-17:30	パネルディスカッション モデレータ: パネラー:	「100~1000論理量子ビットをどうやって実現するか?」 北川 勝浩 プログラムディレクター 佐藤 信太郎 (富士通(株) 量子コンピューティング研究センター センター長) 根本 香絵 (情報・システム研究機構 教授) 藤井 啓祐 (大阪大学 教授) 鈴木 泰成 (日本電信電話(株) 研究員) 山本 剛 プロジェクトマネージャー 高橋 優樹 プロジェクトマネージャー 古澤 明 プロジェクトマネージャー 水野 弘之 プロジェクトマネージャー 小坂 英男 プロジェクトマネージャー 山本 俊 プロジェクトマネージャー 小芦 雅斗 プロジェクトマネージャー
17:30-17:45	本日の総括	北川 勝浩 プログラムディレクター
17:45-17:50	閉会挨拶	科学技術振興機構

申込締切 **2022年 3/7(月) 17:00**

申込URL <https://form.jst.go.jp/enquetes/MS20220311goal6>

お問い合わせ先
ムーンショット目標6 公開シンポジウム事務局(株式会社ステージ内)
受付時間10:00~17:00 ※土日・祝日は除く
TEL: 03-6823-6615 E-mail: moonshot-goal6@stage.ac

定員 **1,000名(事前申し込み)**

